



# アブラツツジ [油躑躅]

5本の樹

落葉／低木／木本植物／在来種



**科名** ツツジ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや遅い

5～6月にドウダンツツジに似た釣鐘型の花をいくつもつける。枝先に5枚の葉を束生させ、その中から長い花柄を伸ばして花を咲かせる。樹名は、つやつやと光沢のある葉裏の様子に由来。新葉、紅葉ともに美しい。本州中部地方以北の山地に自生するドウダンツツジの仲間。



## Memo

国内のドウダンツツジの仲間は、ドウダンツツジのほかサラサドウダン、アブラツツジが自生する。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■							
果 実											■		
紅 葉												■	
施 肥		■					■						
剪 定							■						

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾		○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強		○	弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○		○			○

## ポイント

細い枝先に咲く花、実、新緑と紅葉などアブラツツジの魅力を生かした配植がお勧め。山野に自生する樹のため、強い日差しや西日、高温、乾燥などを避けて、風通しのよい酸性土壌の配植がよい。

## 剪 定

大きめの葉を枝先に束生させるので刈り込みには向かない。新葉とともに花につけるので、剪定は花後がよい。生長は比較的遅く自然にまとまるので、剪定は最小限がお勧め。

## 病虫害

丈夫だが、夏の高温時に乾燥すると、グンバイムシやハダニが発生し、葉が白っぽく変色しやすい。駆除し充分灌水する。新芽や蕾を食害するベニモンアオリンガが発生することがある。

呼べる蝶 コツバメ